

③ 平成 30 年度における教員の活動

[機構長]

職位	氏名	専門分野	本務所属
機構長	栗原 和美	電力工学・電気機器工学	理工学研究科（工学野）電気電子システム工学領域・教授/副学長

[評議員・副機構長]

職名	氏名	専門分野	本務所属
評議員	松坂 晃	応用健康科学	全学教育機構 共通教育部門 教授
総合教育企画部門長	下村 勝孝	基礎解析学	理工学研究科（理学野）数学・情報数理領域・教授
共通教育部門長	篠嶋 妥	金属物性	理工学研究科（工学野）物質科学工学領域・教授
学生支援部門長	西川 陽子	食品科学, 科学教育, 食生活学	教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 家政教育教室・教授/学長特別補佐
国際教育部門長	佐藤 達雄	園芸学・造園学, 育種学, 植物栄養学・土壌学	農学部 附属国際フィールド農学センター・教授/学長特別補佐
学務部長	向後光典	事務統括	事務局学務部

○ 総合教育企画部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
准教授	鳶田 敏行	教育学, 大学経営	54
助教	佐川 明美	高等教育マネジメント	—

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
教授	田中 耕市	各学部との連絡調整、学部内での教育改善施策の立案や実施	人文社会科学部 現代社会学科
教授	齋藤 芳徳		教育学部 情報文化課程
教授	中川 尚子		理工学研究科（理学野）物理学領域
教授	横木 裕宗		理工学研究科（工学野）都市システム工学領域
准教授	牧山 正男		農学部 地域総合農学科

○ 共通教育部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
教授	福田 浩子	言語教育, 応用言語学, 異文化コミュニケーション	57
教授	金光男	地域研究, 東アジア国際関係史	59
教授	松坂 晃	応用健康科学	—
准教授	Frederick Allan Shannon	応用言語学	61
准教授	小林 邦彦	異文化コミュニケーション、英語教育学、第二言語習得	63
准教授	小西 康文	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	65
准教授	菊池 武	英語教育	67
准教授	SCHMIDT-Fajlik Ronald	English language teaching pedagogy, intercultural communication	69
准教授	清水 恵美子	比較文学比較文化、日本近代美術史	71
准教授	佐藤 伸也	情報学基礎理論、計算機システム、ソフトウェア	75
准教授	上田 敦子	外国語教育	77
准教授	山崎 大	天文学 素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理	79
講師	大森 真	英語教育	82
講師	佐々木 友美	外国語教育	—
講師	鈴木 聡子	外国語教育	84
講師	館 深雪	英語教育、言語教育、カウンセリング	85

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
准教授	神田 大吾	多文化理解部会；初修外国語	人文社会科学部 人間文化学科
准教授	横溝 環	多文化理解部会；異文化コミュニケーション	人文社会科学部 現代社会学科
教授	櫻井 豪人	多文化理解部会；ヒューマニティーズ	人文社会科学部 人間文化学科
准教授	牧 良明	社会と生活部会	人文社会科学部 法律経済学科
教授	木村 昌孝	グローバル英語プログラム部会	人文社会科学部 現代社会学科
准教授	渡邊 将司	心と体の健康部会	教育学部 人間環境教育課程
教授	谷川 佳幸	多文化理解部会；パフォーマンス&アート	教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 音楽教育教室
准教授	大塚 富美子	自然・環境・科学部会	理工学研究科（理学野） 数学・ 情報数理領域
教授	江口 美佳	自然・環境・科学部会	理工学研究科（工学野） 物質科 科学工学領域
教授	上妻 由章	自然・環境・科学部会	農学部 食生命科学科

准教授	坂上 伸生	AIMSプログラム部会	農学部 食生命科学科
教授	安江 健	地域協創人材教育プログラム部会	社会連携センター/農学部 食生命科学科

○ 学生支援部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
准教授	小磯 重隆	労働法、キャリア教育、教育社会学	86
講師	矢嶋 敬紘	社会福祉学, 臨床心理学	88

○ 国際教育部門

[専任教員]

職位	氏名	専門分野	掲載頁
教授	安 龍洙	日本語教育	90
教授	八若 壽美子	日本語教育	92
教授	池田 庸子	日本語教育	94
講師	青木 香代子	教育学（多文化教育、異文化間教育、国際理解教育）	96
講師	瀬尾 匡輝	日本語教育, 外国語教育, 教育社会学	98
助教	塚田 純	政治コミュニケーション、ジャーナリズム、メディア論	103

[兼務教員]

職位	氏名	部門での役割	本務所属
教授	村上 雄太郎	各学部との連絡調整、学部内での国際教育施策の立案や実施	理工学研究科（工学野） 数理・応用科学領域
教授	湊 淳		理工学研究科（工学野） 数理・応用科学領域
准教授	坂上 伸生		農学部 食生命科学科

③ 平成 30 年度における教員の活動

総合教育企画部門	氏名 高田 敏行
----------	----------

職名	准教授
学位	修士(理学)[金沢大学]
学歴	金沢大学大学院 自然科学研究科 博士後期課程 地球環境科学専攻[2003年単位取得満期退学] 金沢大学大学院 自然科学研究科 博士前期課程 生命・地球学専攻[1999年修了] 金沢大学 理学部 地球学科[1997年03月卒業]
職歴	茨城大学 IT基盤センター 教育IT化推進部門(兼務)(2018年5月～) 茨城大学全学教育機構 総合教育企画部門准教授(2016年8月～) 茨城大学大学戦略・IR室准教授(2015年4月～2016年7月) 茨城大学大学戦略・IR室助教(2014年10月～2015年3月) 茨城大学 助教評価室(2007年4月～2014年9月) 茨城大学 IT基盤センター ITシステム運用部門(兼務)(2005年7月～2018年4月) 茨城大学 助手評価室(2005年3月～2007年3月) 茨城大学 学術企画部 企画課 大学改革係(2004年4月～2005年2月) 茨城大学 水戸事業場衛生管理者(2004年4月～) 茨城大学 総務部 総務課 大学改革推進室 大学改革推進係(2003年4月～2004年3月) 防災科学技術研究所非常勤職員(文部科学省研究開発局防災科学技術推進室勤務)(2002年7月～2002年8月)
専門分野	地球環境変動 教育学 大学経営
教育研究概要	(研究経歴)・湖沼堆積物を用いた歴史時代における古水文環境の復元・高等教育機関における自己点検評価手法の開発 (キーワード)大学改革、評価
所属学会	米国 IR 協会 日本地形学連合 大学評価コンソーシアム 日本高等教育学会
受賞歴	なし
担当科目	なし

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)]高田敏行「データを活かした教育改善」, 茨城大学全学教育機構論集, 2, 99-102(2019年02月)</p> <p>2. [その他]情報誌「大学評価とIR」第9号(編集)</p> <p>○ 学会発表等</p>

1. 「米国における IR 機能とその意味(国内)」, 国立大学協会政策研究所運営委員会; 高等教育に関する基礎データ等の調査研究グループ 合同研究会『アメリカにおけるIRシステムと財務制度からみる大学間連携』(如水会館(東京都千代田区))[招待講演](2018 年 07 月)
2. 「我が国の IR 担当者の現状について(H30.7 月調査報告)」, 大学評価・IR 担当者集会 2018(九州工業大学(福岡県北九州市))(2018 年 08 月)
3. 「教育の内部質保証システムと学務系職員の果たす役割(国内)」, 茨城大学・宇都宮大学・福島大学合同 SD 研修会(茨城大学(茨城県水戸市))(2018 年 09 月)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「IR (Institutional Research)の役割と効果的な運用について(国内)」, 平成 30 年度 九州地区私立短期大学「教職員研修会」(福岡ガーデンパレス(福岡県福岡市))(2018 年 09 月)
2. 「IR による総合的な教務情報にもとづく教育改善支援～IR でどのように教育の質をモニタリングするか～(国内)」, 第 24 回 GAKUEN 全国ユーザ研修会(金沢市商工会議所(石川県金沢市))(2018 年 10 月)
3. 「IR 機能をどのように活かすかー事務機能・内部質保証システムー(国内)」, 大阪市立大学職場課題研修 IR 研修会(大阪府大阪市)(2018 年 11 月)
4. 「教育改善をどのように進めるか～内部質保証のための IR の活用～(国内)」, 茨城県立医療大学FD研修会(茨城県阿見町)(2018 年 12 月)
5. 「自己点検・評価に活かす IR 機能 ～内部質保証のための IR の進め方～(国内)」, 筑波技術大学FD・SD講演会(茨城県つくば市)(2018 年 12 月)

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

○ 学協会での役職

1. 大学評価コンソーシアム, 副代表幹事(総務担当)(2011 年 09 月～)

○ 行政機関等での委員就任

1. 文部科学省 科学技術・学術政策局「研究開発評価推進検討会」[委員]

○ 学外教育

1. 「平成 30 年度 IR 実務担当者連絡会:指標の立て方実践講習」[企画・運営、講義・演習担当](三重大学(三重県津市))(2018 年 11 月)
2. 「継続的改善のための IR/IE セミナー2019:国立大学法人評価情報交換セッション」[企画・運営、演習担当](九州工業大学(福岡県北九州市))(2019 年 03 月)
3. 「大学評価・IR 担当者集会 2018:分科会2「内部質保証に向けた IR や調査機能の育成、内部質保証システム設計・運用演習、研究マネジメントに資する IR」[企画・運営、講義・演習担当](九州工業大学(福岡県北九州市))(2018 年 08 月)
4. IRer養成講座 in 大阪(愛媛大学主催;関西大学梅田キャンパス(大阪府大阪市))[講義・演習担当](2018 年 10 月 18 日)
5. 「IR 初球人材育成セミナー」(九州大学主催;JR 博多シティ[講義・演習担当](福岡県福岡市))(2019 年 3 月)

平成 30 年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(B)(代表)「大学の評価・IR 機能の高度化のための実践知の収集・分析とその活用に関する研究」(2015 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)
2. [科研費]基盤研究(C)(分担)「教学マネジメントを支援する大学の専門的職員のあり方に関する研究」(2018 年 04 月 01 日～2021 年 03 月 31 日)
3. [科研費]基盤研究(C)(分担)「大学の数量的な「共通知」から分析マインドを涵養する人材育成プラットフォームの開発」(2018 年 04 月 01 日～2021 年 03 月 31 日)

○ 共同研究・受託研究

1. [国内共同研究]「環境領域の研究コミュニティの効果的形成と運用に関する実践的研究」, 金沢大学環日本海域環境研究センター(2018 年 04 月～2019 年 03 月)
2. 金沢大学 客員研究員

平成 30 年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 「全学教育機構 web サイト開設準備 TF」[座長](2017 年 11 月～)
2. 「全学教育機構 点検評価委員会」[委員](2017 年 04 月～)
3. 「全学教育機構 学術委員会」[委員](2017 年 04 月～)

○ 全学的委員会の業務

- 「図書館本館委員会」[委員](2017 年 10 月～)
- 「図書館運営委員会」[委員](2017 年 10 月～)
- 「教務情報ポータルシステム専門委員会」[副委員長](2017 年 04 月～)
- 「全学情報委員会」[委員](2015 年～)
- 「年俸制適用教員業績評価専門部会」[委員](2015 年～)
- 「教育改革推進委員会」[事務局](2019 年 04 月～)
- 「水戸事業場安全衛生委員会」[衛生管理者](2004 年～)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. 全学 FD、学部 FD 5回担当
2. 学部アドバイザーボード話題提供 5回担当
3. [情報セキュリティ対策室](2006 年 07 月～)

業務内容: 室員

5. [IT 基盤センター 教育 IT 化推進部門](2005 年 07 月～)

業務内容: 部門員

○ その他の校務

1. 大学教育再生加速プログラム運用担当 (2018 年 08 月～)

共通教育部門	氏名 福田 浩子
--------	----------

職名	教授
学位	修士(国際コミュニケーション)[青山学院大学]
学歴	青山学院大学大学院 国際政治経済学研究科 修士課程 国際ビジネス専攻(国際コミュニケーション) [1996年修了] 慶應義塾大学 文学部[1978年卒業]
職歴	茨城大学全学教育機構教授(2017年4月～) 茨城大学人文学部教授(2013年10月～2017年3月) 茨城大学人文学部准教授(2007年4月～2013年9月) 慶應義塾大学外国語教育センター上席研究員(2007年10月～2011年3月) 茨城大学人文学部助教授(2002年4月～2007年3月) 武蔵野女子大学人間関係学部非常勤講師(2000年4月～2001年3月) 獨協大学外国語学部非常勤講師(1999年4月～2002年3月) 獨協大学オープン・カレッジ講師(1999年4月～2002年3月) 青山学院大学国際政治経済学部兼任講師(1998年4月～2004年3月) 日本能率協会マネジメントセンター人事アセスメント研究所外部講師(1995年4月～2002年3月) 湘北短期大学非常勤講師(1990年4月～1999年3月)
専門分野	言語教育 応用言語学 異文化コミュニケーション
教育研究概要	(研究経歴) 1995- 言語意識・言語への気づき(Language Awareness)の研究 2001- 大学における教養英語教育 2001- 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠と日本における外国語教育 2007-2009 言語意識教育:小学校からの英語・国語教育への提言(研究代表者、科研) 2007-2009 英語教育におけるプログラム・デザインのモデル化:ヨーロッパ共通参照枠の応用(科研) 2010-2012 グローバル時代の外国語教育ー理念と現実/政策と教授法ー(科研) 2011-2013 多言語・多文化に開かれたリテラシー教育についての研究:日本の言語教育への提言(研究代表者、科研) 2012-2014 外国語一貫教育における複言語・複文化能力育成に関する研究(科研) 2014-2016 多言語・多文化に開かれたリテラシー教育についての研究:初等教育と教員養成を中心に(研究代表者、科研) 2011- 複言語・複文化主義を取り入れた言語教育のリデザイン (キーワード) 言語への気づき、言語意識教育、ELBE、EOLE、自律的学習、ヨーロッパ言語共通参照枠、ELP(European Language Portfolio)、複言語・複文化主義、大学教養英語教育、小学校の外国語活動、カリキュラム開発、CLIL、translanguaging
所属学会	大学英語教育学会 日本国際理解教育学会 日本言語政策学会 異文化間教育学会 異文化コミュニケーション学会
受賞歴	平成14年度後学期茨城大学推奨授業表彰(2003)
担当科目	(教養科目)Integrated English I A, Integrated English I B, Advanced English I B

平成 30 年度における大学運営・機構運營業務

○ 全学的委員会の業務

「学生支援センターバリアフリー推進部会」[障害学生修学支援員(全学教育機構)](2017 年 04 月～)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会](2018 年 04 月～2019 年 3 月)

業務内容:FD 委員長

2. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会](2018 年 04 月～)

業務内容:IE I コース・コーディネータ

3. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会](2018 年 04 月～2019 年 3 月)

業務内容:AE I サブ・コーディネーター

4. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会](2017 年 04 月～2019 年 03 月)

業務内容:学習支援 English Lounge 学習相談(IE I、総合英語プレレベル3)担当

5. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会](2018 年 04 月～2018 年 10 月)

業務内容:対学部リエゾン(理学部)

6. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会](2017 年 04 月～2018 年 03 月)

業務内容:書記(輪番)

7. [ブラクティカル・イングリッシュ専門部会](2017 年 04 月～)

業務内容:委員

○ その他の校務

科学研究費助成事業申請制度助言者

共通教育部門	氏名 金光男
--------	--------

職名	教授
学位	政治学修士[早稲田大学]
学歴	上智大学大学院 外国語学研究科 博士課程 国際関係論専攻[1992年03月単位取得満期退学] 早稲田大学大学院 政治学研究科 修士課程 政治学[1987年修了] 早稲田大学 社会科学部 社会科学科[1980年卒業]
職歴	早稲田大学アジア研究機構・客員研究員(2008年4月～2010年3月) オーストラリア、ニュー・サウス・ウェールズ大学人文社会科学部客員研究員(2000年4月～2001年3月) 東京外国語大学外国語学部東南アジア課程非常勤講師(1997年4月～1999年3月) 茨城大学人文学部助教授(1994年4月～) 国立インドネシア大学政治社会学部国際関係学科客員講師(1993年2月～1994年2月) 早稲田大学社会科学研究所インドネシア部会研究協力者(1988年4月～1992年3月)
専門分野	地域研究 東アジア国際関係史
教育研究概要	授業は、アジア社会論、政治学担当。研究分野は、インドネシア地域研究、アジア日本関係史、朝日関係史の研究。 (キーワード)インドネシア、朝鮮・韓国、日本、国際関係、東アジア地域研究
所属学会	歴史学研究会 韓日民族問題学会 アジア・ヨーロッパ未来学会 茨城大学政経学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)社会・国際系科目/グローバルスタディーズ【2Q】アジア学入門, グローバルスタディーズ, 社会と政治 (専門科目)アジア社会論 I /アジア社会論A, 専門ゼミナールA(アジア社会論)/専門ゼミナールC(アジア社会論), 専門ゼミナールB(アジア社会論)+専門ゼミナールD(アジア社会論), 卒業研究 (大学院科目)課題研究演習 I /アジア社会論研究 I, 課題研究演習 II, 地域研究・社会学基盤演習

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学・研究機関紀要)・単著] 金光男「官営から後藤経営下の高島炭坑に関する一考察」茨城大学全学教育機構論集、1、79-95(2018年03月)</p>

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

<p>○ 学協会での役割</p> <p>1. アジア・ヨーロッパ未来学会, 学会誌『ユーラシア研究』政治・外交分科編集委員(2008年01月～)</p>
<p>○ 地域協力活動</p>

③ 平成 30 年度における教員の活動

1. 水戸市教育委員会[学外審議会・委員会等]「みと好文カレッジ運営審議会委員」(2018 年 06 月～2020 年 06 月)
2. 放送大学 2019 年度第 1 学期、面接授業、「アジア社会論」担当、2019 年 4 月 20 日～4 月 21 日(8 時限)

平成 30 年度における大学運営・機構運營業務

- **委員会・入試などの業務(機構)**
 1. 「全学教育機構人事委員会」委員
 2. 「大学院専門部会」委員
 3. 「社会と生活部会」部会長
- **機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等**
 1. 「グローバル化と人間社会」部会長

共通教育部門	氏名 Frederick Allan Shannon
--------	----------------------------

職名	准教授
学位	博士[クイーンズランド大学] 修士[サザン・クイーンズランド大学] 学部[サイモンフレーザー大学] ケンブリッジ大学 英語教授法資格[ケンブリッジ大学]
学歴	クイーンズランド大学大学院 教育学部 博士課程 教育(クイーンズランド大学)[2008年01月修了] サザン・クイーンズランド大学大学院 教育学部 修士課程 言語学(サザン・クイーンズランド大学)[2004年07月修了] サイモンフレーザー大学 犯罪学部 犯罪学部(カナダ)[1996年07月卒業]
職歴	九州大学(2010年10月～2012年3月)
専門分野	応用言語学
教育研究 概要	<p>(研究経歴) 私はこれまで数年間日本の大学レベルで外国語としての英語(EFL)を教えてまいりました。私の授業を通して学生たちが新しい言葉を学んだり、これまで知らなかったことを理解したりしてくれることに非常に喜びとやりがいを感じております。私は教員としてのキャリアの早期から、TESOLの学術分野と応用言語学について学び、教えることに魅力を感じてきました。また、学生たちの語学力を伸ばすために彼らをサポートできることに喜びを感じております。よりよい英語教師となることができるように、私はTESOL/応用言語学、教育学の分野で学位を取得しました。私は博士課程で英語専攻以外の学生を対象としたリスニング能力に重点を置いた語学教育について研究を行いました。応用言語学修士課程ではEFL学習者による言語習得方略の使用について研究しました。また、ケンブリッジのCELTA(Certificate of English Language Teaching to Adults)も取得しております。私は自分のキャリアを開発する決意をして、語学教育に関するスキルと知識の向上に努めてまいりました。日本で教える外国人教師の中でも英語教育の博士号を保持している人は非常に限られており、TESOL分野における私の学術的背景によって、大学の課程に積極的な貢献ができると信じております。さらに、私は大学レベルでの豊富な指導経験があります。学部および大学院の英語専攻と非英語専攻の学生たちに対して英語関連の指導を行ってまいりました。これまでに教えたことのあるコースとしては、(1) プレゼンテーションスキル、(2) アカデミックライティング、(3) TOEIC、(4) TEOFL、(5) リスニングスキル、(6) ショートフィクション(詩および短編小説)、(7) 4 スキル会話クラスなどがあります。加えて、大学のほか、短期大学、高等学校、民間の語学学校、企業(NEC、トヨタ、マイクロソフトなど)での指導経験も豊富です。また、学部教員陣容の一員として、研究および学術活動にも参加してまいりました。これまでの大学および学科では広報活動にも積極的に参加し、たとえば学生やスタッフが彼らの英語を練習し、フィードバックを得る機会である「English Corner」というミーティングを毎週開催したり、大学院生向けに「Writing Clinic」を毎週行い、ライティングの支援をしたりした経験があります。また、大学の体育祭やスピーチコンテスト、寸劇コンテストなどにも参加しました。また、通常の職員会議等にも出席し、英語専攻以外の学生向けのカリキュラム開発や教材の選択なども行いました。そして、【大学入試業務】の支援も行ってまいりました。私は日本語で学生やスタッフとコミュニケーションをとったり、一般的な業務を行ったりすることができます。このような理由から、私は大学での英語教員の職に適していると信じております。</p>

③ 平成 30 年度における教員の活動

	(キーワード)ナチュラルアプローチー, クラッシュェン, SLA モデル, 情意フィルター, インタラクシヨシ仮説、インプット仮説、生得理論、言語習得装置、モニターモデル、ナチュラルアプローチ, 相互交流仮説、インプット仮説、生得理論、意味交渉、最近接発達の領域 (ZPD)
所属学会	
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)Advanced English II A, Advanced English II B, Advanced English III A, Advanced English III B, Integrated English II A, Integrated English II B, English For Socializing (専門科目)専門演習 I (Language Learning), English Seminar for Intercultural Communication I, 専門演習 II (Language Learning), American Ways: Exploring American Life+英語圏の文化と社会 II, Canadian Studies

共通教育部門	氏名 小林 邦彦
--------	----------

職名	教授
学位	修士(教育学)[茨城大学]
学歴	
職歴	
専門分野	外国語教育
教育研究概要	(キーワード)異文化間コミュニケーション理論を外国語教育の入門期から体系的に導入するための「異文化間コミュニケーション・シラバス設計」とその教授法の研究。英語教授法に関して、「コミュニケーション・アプローチ」を機軸として「動機付け理論」、「タスク理論」、「学習ストラテジー」に関する「認知学習理論」、「学習者中心の教授法」等の研究をはじめ、CALL 等「教
所属学会	全国語学教育学会 全国英語教育学会 大学英語教育学会 関東甲信越英語教育学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)Integrated English II A, Advanced English IA, Integrated English II A, Integrated English II B, Advanced English IB, Integrated English II B, 総合英語(プレレベル3)

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

<p>○ 地域協力活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [地域貢献事業]「教員免許状更新講習 講師」(2011 年 08 月～) 2. [地域貢献事業]「教員免許状更新講習 講師」(2010 年 08 月～) 3. 「教員免許状更新講習 講師」(2009 年 12 月～) 4. [地域貢献事業]「教員免許状更新講習 講師」(2009 年 08 月～) 5. 「国立茨城工業高等専門学校 英語スピーチコンテスト審査委員長」(2009 年 07 月～)
--

平成 30 年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 委員会・入試などの業務(機構)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「CALL 教室専門部会」[委員](2010 年 04 月～) 2. 「学生交流事業実施委員」[日米文化交流委員](2010 年 04 月～) <p>○ 全学的委員会の業務</p> <p>「プラクティカルイングリッシュ専門部会」[部会長補佐](2018 年 08 月～)</p> <p>「全学教育機構 GEP 専門部会」[部会長](2018 年 04 月～2020 年 03 月)</p> <p>「全学教育機構 共通教育部門」[部門長補佐](2018 年 04 月～2020 年 03 月)</p> <p>「学生交流事業実施委員会」[日米文化交流委員](2010 年 04 月～)</p>

③ 平成30年度における教員の活動

「総合英語教育専門部会」[委員](2003年04月～)

「アドミッションセンター関連業務」(2017年4月～)

共通教育部門	氏名 小西 康文
--------	----------

職名	准教授
学位	博士(物理学)[京都産業大学]
学歴	京都産業大学大学院 理学研究科 博士後期課程 物理学専攻[2010年03月修了]
職歴	茨城大学全学教育機構准教授(2018年2月～) 茨城大学大学教育センター准教授(2015年2月～2018年1月) 埼玉大学大学院理工学研究科研究支援者(2011年4月～2015年1月) 京都産業大学益川塾自然科学系研究員(2010年4月～2011年3月)
専門分野	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	(キーワード)
所属学会	日本物理学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)力と運動, 微積分学, 微積分学入門【1Q】, 微積分学基礎【2Q】, 物質と生命, 自然科学の概観+物質と生命

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. 小西 康文, Yasufumi KONISHI「数学科目で利用したデジタル教科書に関する一年目の結果」, 茨城大学全学教育機構論集. 大学教育研究, 2, 91-98(2019年03月)</p>

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

<p>○ 兼業・兼職</p> <p>1. [兼業] 一般財団法人 理数教育研究所(Rimse)・Rimse 東京懇談会内調査研究部会研究員(2018年07月～2019年03月)</p> <p>○ 学外教育</p> <p>1. [公開講座]「日立市・日立地区産業支援センター・茨城大学連携公開講座「AI・データサイエンス入門」, , ,</p> <p>2. [出前授業]「茨大 1day キャンパス in 土浦二高・AI・データサイエンス入門」, , ,</p>
--

平成 30 年度における大学運営・機構運営業務

<p>○ 委員会・入試などの業務(機構)</p> <p>1. 【大学入試業務】(2018年11月)</p> <p>2. 【大学入試業務】(2018年01月)</p>
--

3. 「全学教育機構人事委員」(2017 年 11 月～2019 年 03 月)

4. 「全学教育機構点検評価委員」(2017 年 05 月～)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. [ブラクティカル・イングリッシュのクラス分け補助](2017 年 04 月～)

業務内容: 名簿および一覧表の作成

2. [微積分学の統一授業の運営等](2017 年 04 月～)

業務内容: 取りまとめ

3. [自然・環境・科学部会の FD の準備と実施](2017 年 04 月～)

業務内容: 日程調整、司会進行など

4. [TOEIC 一斉テストに関する業務](2015 年 07 月～)

業務内容: 集計および解析

5. [基礎教育科目のアンケートの集計](2015 年 02 月～2018 年 08 月)

業務内容: 取りまとめ

共通教育部門	氏名 菊池 武
--------	---------

職名	准教授
学位	英語教授法修士[コロンビア大学大学院ティーチャーズカレッジ]
学歴	コロンビア大学大学院 ティーチャーズカレッジ 修士課程 英語教授法修士課程[2003年02月卒業] 立教大学 文学部 英米文学科[1984年03月卒業]
職歴	いわき明星大学人文学部(2011年4月～2015年3月) 教養学部(2015年4月～2018年3月)准教授(2011年4月～2018年3月) 獨協大学外国語学部英語学科(2007年4月～2008年3月) 法学部総合政策学科(2008年4月～2011年3月)特任講師(2007年4月～2011年3月) 獨協大学非常勤講師(2006年4月～2007年3月) 茨城大学非常勤講師(2003年4月～2011年3月) いわき明星大学非常勤講師(2003年10月～2011年3月) 茨城県教育委員会教諭(1984年4月～2003年3月)
専門分野	外国語教育
教育研究 概要	(キーワード)英語教育、第二言語習得研究、発音指導
所属学会	大学英語教育学会 全国語学教育学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)Integrated English II A, Advanced English II A, Integrated English II B, Advanced English II B

平成30年度における社会的活動、地域貢献など:

○ 兼業・兼職
1. [非常勤講師] 獨協大学・(2011年04月～), いわき明星大学 (2019年より医療創生大学)・(2019年04月～)

平成30年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)
→【大学入試業務】(2019年1月～2月)
○ 全学的委員会の業務
「全学教育機構 共通教育部門 プラクティカル・イングリッシュ部会」[部会長](2018年04月～08月[部会長補佐]、[部会長]2018年08月～)
「全学教育機構 GEP 専門部会」[委員](2018年04月～)
「全学教育機構 共通教育部門」[委員](2018年04月～)

③ 平成 30 年度における教員の活動

○ **機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等**

プラクティカル・イングリッシュ部会 AEII コースコーディネーター(2018 年 4 月～8 月)、TOEIC 実施委員長

プラクティカル・イングリッシュ部会[部会長](2018 年 08 月～)

英語教育検討タスクフォース[委員](2018 年 10 月～)

○ **その他の校務**

1. [全学教育機構 学術委員会 委員](2018 年 04 月～)

共通教育部門

氏名 SCHMIDT=FAJLIK Ronald

職名	准教授
学位	D.Ed.[University of South Africa] M.Ed.[University of Manchester] B.Ed.[University of Toronto] B.F.A.[York University (Toronto)]
学歴	University of South Africa Didactics 博士課程 (South Africa) [2014 年 10 月] University of Manchester English Language Teaching 修士課程 Master of Education in English Language Teaching (M.Ed. ELT).(England) [2000 年修了] University of Toronto 教育学部 (Canada) [1993 年卒業] York University 芸術工学部 (Canada) [1991 年卒業] Humber College Audio-Visual Production, Television [1986 年卒業]
職歴	4/05-present Ibaraki University. Full-time tenured Associate Professor. 10/00-3/05 Josai International University. Full-time Lecturer. 4/97-3/99 Kyohei Senior High School. English teacher. 4/95-3/97 Honjo Daiichi Senior High School. English teacher. 3/94-4/95 Misugi Junior High School. Assistant English teacher.
専門分野	English language teaching pedagogy, intercultural communication
教育研究 概要	Mindfulness in language teaching. Intercultural communication Interpersonal competence. 言語学習におけるマインドフルネス. 異文化コミュニケーション 個人教育 視覚文化 コンピュータ支援型 言語学習 英語教育
所属学会	
受賞歴	Best Presentation of Chiba JALT 2003 (2004)
担当科目	(教養科目) Integrated English IIA, Integrated English IIB, Academic English IIA (専門科目) ESIC II, Basic Media English, 基礎演習, 専門演習 I (Language Learning), 英語圏の文化 と社会, ESIC III, 専門演習 II (Language Learning), 専門演習 専門演習 III (Language Learning, 専門演習 IV, 卒業研究.

平成 30 年度における研究業績

○ 著書・論文等

Gathered data and conducted research regarding mindfulness to reduce anxiety when reading in a foreign language.

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など

English speech contest judge at Kosen High School in Hitachinaka. Assisted junior high school students in preparing for the 'Interactive English' conversation contest.

平成 30 年度における国際交流活動

My Introduction to Comenius University in 平成 29 led to a finalized partnership agreement with Ibaraki University in 平成 30.

平成 30 年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

→【 Work for University entrance exam 】

○ 全学的委員会の業務

③ 平成 30 年度における教員の活動

○ 機構教員としての全学的活動等

→Provided English conversation practice sessions two hours a week for students (English conversation training).

共通教育部門	氏名 清水 恵美子
--------	-----------

職名	准教授
学位	修士(学術)[茨城大学] 博士(学術)[お茶の水女子大学]
学歴	お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 博士後期課程 国際日本学専攻[2008年修了] 茨城大学大学院 人文科学研究科 修士課程 文化構造専攻[2003年修了]
職歴	茨城大学全学教育機構准教授(2018年4月～) 茨城大学五浦美術文化研究所所員(2015年11月～) 茨城大学社会連携センター准教授(2015年2月～2018年3月) お茶の水女子大学生活科学部学部教育研究協力員(2013年～2015年) お茶の水女子大学お茶大アカデミック・プロダクション特任リサーチフェロー(2011年～2012年) 国土館大学文学部非常勤講師(2010年～2015年) 芝浦工業大学工学部非常勤講師(2010年～2015年) お茶の水女子大学生活科学部非常勤講師(2010年～2015年) お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター客員研究員(2009年～) お茶の水女子大学人間文化創成科学研究科研究院研究員(2008年～2011年) 茨城大学人文学部・大学共通センター非常勤講師(2006年～2015年)
専門分野	美術史 文学一般(比較文学比較文化) 日本史(近現代史)
教育研究概要	岡倉天心に関する研究(岡倉の思想と生涯の活動について、晩年の五浦・ボストン往復時代を中心に、美術史、芸術思想史、比較文学比較文化、文化交流史、近代日本史など多角的な領域から研究) (キーワード)岡倉天心(覚三) 近代美術史 比較文学比較文化 文化交流史 芸術思想史 地域志向教育 アクティブ・ラーニング PBL
所属学会	日本フェノロサ学会 文化資源学会 日本比較文学学会 明治維新史学会 明治美術学会
受賞歴	いばらきデザインセレクション 2017 知事選定(2017) 文化庁 平成 24 年度(第 63 回)芸術選奨文部科学大臣新人賞(評論等部門)(2013)
担当科目	(教養科目)茨城学, 地域志向系科目【茨城学】/茨城学 (基盤教育科目)茨城学 (全学共通科目)5 学部混合地域 PBL I, 5 学部混合地域 PBL II, 5 学部混合地域 PBL IA, 5 学部混合地域 PBL IIA

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・共著]清水恵美子、渡辺啓己、菊地章雄、今村健太郎「大学 COC 事業における『茨城学』の取り組みと成果」、『茨城大学全学教育機構論集. 大学教育研究』, 2, 23-42(2019年03月)</p>

2. [(MISC)総説・解説(その他)・単著【依頼/招待】]清水恵美子「くボストンにおける岡倉覚三」『東西の調和』その思想と実践, 『天心報』, 27, 1-13(2018年11月30日)
3. [(MISC)総説・解説(その他)・単著【依頼/招待】]清水恵美子「五浦から世界へ 岡倉覚三(天心)と弟由三郎」, 『日本ナショナルトラスト 報』, 528, 2-4(2018年11月01日)
4. [(MISC)研究発表要旨(国際会議)・単著【依頼/招待】]Emiko Shimizu“Okakura-Kakuzoin Cultural Exchange between India and Japan: Dialogue with Swami Vivekananda and Rabindranath Tagore”, Rethinking Cultural Heritage: Indo-Japanese Dialogue in a Globalising World Order, 13-14(2018年08月16日)
5. [(MISC)総説・解説(その他)・単著【依頼/招待】]清水恵美子「西洋と東洋を超えて:岡倉天心」, 『nippon.com』, (2018年08月02日)
6. [(MISC)速報, 短報, 研究ノート等(学術雑誌)・単著【依頼/招待】]清水恵美子「私にとって文化資源学とは何か」, 『文化資源学』, 16, 96-97(2018年06月30日)

○ 学会発表等

1. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 清水 恵美子「茨城大学 COC 地域志向教育プログラムの取り組みと今後」山梨大学 COC セミナー(山梨大学甲府キャンパス)[2019年01月16日]
2. [口頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)] 「木村武山の足跡—五浦と笠間の時代—」明治 150 年記念事業歴史講演会(笠間市(かさま歴史交流井筒屋))[2018年11月23日]
3. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 清水恵美子「飯村丈三郎と五浦日本美術院」シンポジウム「飯村丈三郎」2018 in 下妻(下妻市図書館(映像ホール))[2018年11月11日]
4. [口頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)] 清水恵美子「ボストンにおける岡倉覚三」岡倉天心市民研究会(岡倉天心横浜顕彰会)第 27 回研究会(横浜市開港記念会館)[2018年10月20日]
5. [口頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)] 清水恵美子「東京国立博物館所蔵 岡倉覚三消息」江戸千家 天心忌茶会(江戸千家教場)[2018年09月02日]
6. [口頭発表(招待・特別)・国際会議(単独)] Emiko Shimizu “Okakura-Kakuzo in Cultural Exchange between India and Japan: Dialogue with Swami Vivekananda and Rabindranath Tagore” Rethinking Cultural Heritage: Indo-Japanese Dialogue in a Globalising World Order(India International Centre)[2018年08月16日]
7. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(共同)] 「岡倉天心 五浦から世界へ」土曜アカデミー・岡倉天心セミナー vol.4 (茨城大学図書館本館ライブラリーホール)[2018年07月14日]
8. [口頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)] 清水恵美子「岡倉天心の五浦時代」多賀工業会水戸勝田支部第 42 回総会講演会(三の丸ホテル)[2018年06月17日]
9. [公開講演, セミナー, チュートリアル, 講習, 講義等・国内会議(単独)] 清水恵美子「飯村丈三郎と横山大観」飯村丈三郎の業績と芸術・文化の発展(藝文学苑 水戸教室)[2018年05月26日]

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

○ 行政機関等での委員就任

1. 「ひたちなか市産業活性化戦略会議」ひたちなか商工会議所[委員長]

○ 学協会での役職

1. ひたちなか市産業活性化戦略会議, 委員長(2018年03月～)

○ 講演会・シンポジウム

1. 「明治 150 記念事業歴史講演会「木村武山の足跡—五浦と笠間の時代—」(国内)」, 笠間市教育委員会(笠間歴史交流館井筒屋)[招待講演](2018年11月)
2. 「シンポジウム[飯村丈三郎]2018 in 下妻—彼がいたから現在がある—」, 飯村丈三郎研究会(茨城県下妻市)[招待講演,パネリスト](2018年11月)
3. 「岡倉天心セミナーvol.5 世界の“OKAKURA”誕生 岡倉の最初の英語著作と日本趣味」(国内)」, 茨城大学五浦美術文化研究所(茨城大学図書館)[司会・議長・コンピナー・コーディネータ](2018年11月)
4. 「第3回石岡市民の日記念行事「石岡市ふるさと学習サミット ～子どもたちが見た『石岡の魅力と未来』を伝えます～」(国内)」, 石岡市教育委員会(石岡市民会館大ホール)[司会・議長・コンピナー・コーディネータ](2018年10月)
5. 「多賀工業会水戸勝田支部第42回総会 講演会(国内)」, 多賀工業会水戸勝田支部総会(水戸市 三の丸ホテル)[招待講演](2018年06月)

○ 地域協力活動

1. 笠間市教育委員会[地域貢献事業]「明治 150 記念事業歴史講演会「木村武山の足跡—五浦と笠間の時代—」『明治 150 記念事業歴史講演会』(2018年11月)
2. 茨城大学図書館[地域貢献事業]「岡倉天心(覚三)の遺産展 vol.2「五浦から世界へ 旅する岡倉の眼差し」(2018年11月)
3. 茨城大学図書館[地域貢献事業]「岡倉天心セミナーvol.5 世界の“OKAKURA”誕生 岡倉の最初の英語著作と日本趣味」『土曜アカデミー 岡倉天心セミナーvol.5』(2018年11月)
4. 石岡市教育委員会[地域貢献事業]「第3回石岡市民の日 記念行事「石岡市ふるさと学習サミット～子どもたちが見た『石岡の魅力と未来』を伝えます～」『石岡市ふるさと学習サミット 子どもたちが見た『石岡の魅力と未来』を伝えます』(2018年05月～2018年10月)
5. ひたちなか商工会議所[学外審議会・委員会等]「ひたちなか市産業活性化戦略会議 委員長」(2017年03月～)

平成 30 年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]科学研究費補助金(基盤研究(C))(代表)「世紀転換期から戦後の美術交流における新納忠之介の文化財保護活動に関する研究」, 3380千円 (2018年04月～2021年03月)
2. [科研費]科学研究費補助金(基盤研究(C))(代表)「世紀転換期における『日本』の語り—岡倉覚三と岡倉由三郎を中心とした比較文学的研究」, 2730千円 (2015年09月～2018年03月)

平成 30 年度における大学運営・機構運営業務

○ 全学的委員会の業務

- 「COC プラス教育プログラム開発委員会」[委員](2018年04月～)
- 「五浦美術文化研究所」[運営委員](2018年04月～)
- 「全学教育機構 COC 地域志向教育プログラム部会」[部会長](2017年04月～)
- 「COC 地域志向教育プログラム委員会」[委員長](2017年04月～)
- 「COC 統括機構委員会」[委員](2015年02月～)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

③ 平成 30 年度における教員の活動

1. [COC 統括機構(COC プラス)](2018 年 04 月～)

業務内容: COC 統括委員会委員、教育プログラム開発委員会委員、COC プラス授業推進 WG

2. [全学教育機構](2017 年 04 月～)

業務内容: 共通教育部会 地域志向教育プログラム部会長(2019 年 3 月まで COC 地域志向教育プログラム部会長)

初年次教育部会(2019 年 3 月まで)

3. [五浦美術文化研究所](2016 年 02 月～)

業務内容: 所員、運営委員(2018 年 4 月～)

4. [COC 統括機構(COC)](2015 年 02 月～)

業務内容: COC 統括委員会委員、COC 地域志向教育プログラム委員会委員長(2017 年 4 月～2019 年 3 月)

共通教育部門	氏名 佐藤 伸也
--------	----------

職名	准教授
学位	DOCTOR of PHILOSOPHY[サセックス大学]
学歴	サセックス大学大学院 エンジニアリング・インフォマティクス研究科 博士課程 インフォマティクス専攻 [2015年05月修了] 東京理科大学大学院 理工学研究科 博士課程 情報科学専攻[2002年03月単位取得満期退学] 東京理科大学大学院 理工学研究科 修士課程 情報科学専攻[1998年03月修了] 東京理科大学 理工学部 情報科学科[1996年03月卒業]
職歴	茨城大学全学教育機構准教授(2017年4月～) 茨城大学大学教育センター准教授(2015年9月～2017年3月) サセックス大学エンジニアリング・インフォマティクス研究科、インフォマティクス専攻准チューター(2014年2月～2014年4月) 姫路獨協大学経済情報学部准教授(法改正による職名変更)(2007年4月～2012年3月) 姫路獨協大学大学院経済情報研究科准教授(法改正による職名変更)(2007年4月～2012年3月) ロンドン大学キングスカレッジコンピュータサイエンス学部客員研究員(2006年9月～2007年8月) 姫路獨協大学大学院経済情報研究科助教授(2005年4月～2007年3月) 姫路獨協大学経済情報学部助教授(2004年4月～2007年3月) 姫路獨協大学経済情報学部専任講師(2002年4月～2004年3月)
専門分野	情報学基礎理論 計算機システム ソフトウェア
教育研究概要	(キーワード)インタラクシオンネット プログラミング言語 形式手法 項(グラフ)書き換え系
所属学会	Association for Computing Machinery
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)情報リテラシー, 情報処理概論, 文明・技術系科目+環境と人間

平成30年度における研究業績

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・単著]佐藤 伸也「授業支援システム RENANDI の利用状況報告」, 茨城大学全学教育機構論集. 大学教育研究, 2, 85-90(2019年03月)

平成30年度における社会的活動、地域貢献など:

- 1.[学協会活動・研究活動] セミナー「Keras/Python3 で学ぶディープラーニングによる時系列データ解析入門」【導入編】, 講師: 卯木輝彦(株式会社フォトロン 研究開発センター長)、佐藤伸也, 学習分析学会(2018年12月15日)

2.[学協会活動・研究活動] セミナー「Keras/Python3 で学ぶディープラーニングによる時系列データ解析入門」【実践編】, 講師: 卯木輝彦(株式会社フォトロン 研究開発センター長)、佐藤伸也, 学習分析学会(2019年2月2日)

平成 30 年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 「全学教育機構 共通教育部門 AI・データサイエンス専門部会」(2018年04月～)
2. 「全学教育機構 総合教育企画部門」(2018年04月～)
3. 「全学教育機構ウェブ TF」(2018年02月～)
4. 「全学教育機構 共通教育部門 初年次教育部会(情報担当)」(2017年04月～)
5. 「全学教育機構 点検評価委員会」(2017年04月～2019年03月)

○ 全学的委員会の業務

「教務情報ポータルシステム専門委員会」(2017年04月～)

「情報環境整備専門委員会」(2015年09月～)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. [部局技術責任者](2017年04月～)
2. [ALC用サーバー管理](2016年09月～)
3. [RENANDI管理運用](2016年09月～2018年03月)

○ その他の校務

1. [基盤・教養科目事前申告抽選作業](2017年02月～)
2. [英語コミュニケーショントレーニング予約サイトの作成・管理・運用](2016年10月～)
3. [IT基盤センター 教育IT推進部門 部門長](2016年09月～)
4. [基盤・教養科目学生アンケート・教員自己点検アンケート集計](2016年09月～)

共通教育部門	氏名 上田 敦子
--------	----------

職名	准教授
学位	修士(国際コミュニケーション)[青山学院大学]
学歴	青山学院大学大学院 国際政治経済学研究所 修士課程 国際コミュニケーション[2001年修了] 青山学院大学 文学部 英米文学科[1985年卒業]
職歴	株式会社公文教育研究会[1985年～1998年] 茨城大学[2003年～現在に至る] 常磐大学(非常勤講師として)[1985年～1998年] 放送大学(非常勤講師として)[2015年、2018年～]
専門分野	外国語教育
教育研究概要	<ul style="list-style-type: none"> ●Accuracy が重要視されがちな日本の英語教育の中で、文法的な正確さだけでなく、Fluency を高める英語教育の研究と実践。多読および多聴を用いた授業の研究。 ●学習スタイル、learning intelligence についての研究、授業への応用 ●生涯学習としての英語教育、英語学習 <p>(キーワード) 多読、多聴、生涯学習</p>
所属学会	日本多読学会 全国語学教育学会 「言語と人間」研究会 (以前の名称:横浜「言語と人間」研究会)
受賞歴	茨城大学推奨授業(2005)
担当科目	(教養科目)Integrated English II A, Advanced English II A, Integrated English II A, Integrated English II B, Advanced English II B, Integrated English II B, 総合英語(レベル3)

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(学術雑誌)・共著]佐々木, 友美 上田, 敦子「学習者の Reading Anxiety に関する一考察—Pleasure Reading 導入にあたっての課題—」, 茨城大学全学教育機構論集. 大学教育研究 no.2 p.65 -74, 2, 65-74(2019年03月01日)</p> <p>○ 学会発表等</p> <p>1. [口頭発表(一般)・国際会議(共同)] Nomura Sachiyo and Ueda Atsuko “Effects of Reciprocal Teaching “Forming Questions”” Asia TEFL(University of Macau Macau, China)[2018年06月27日]</p>

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

<p>○ 兼業・兼職</p> <p>1. [非常勤講師] 放送大学・非常勤講師, 2(時間/月)(2013年10月～)</p> <p>2. [非常勤講師] 常磐大学・非常勤講師, 2(時間/月)(2007年04月～)</p>
--

○ 地域協力活動

1. [その他公的社会活動]「公開講座 多読を楽しむ」(2018 年 04 月～)
2. [その他公的社会活動]「放送大学英会話サークル 指導」(2016 年 04 月～)
3. 茨城大学地域連携センター(2018 年～)

平成 30 年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 「人事採用委員」(2018 年～)
2. 「施設・予算委員」(2017 年 04 月～)

○ その他の校務

1. [PE クラス編成委員長](2018 年～)
2. [PE 教育支援委員](2018 年 04 月～)

共通教育部門	氏名 山崎 大
--------	---------

職名	准教授
学位	修士(理学)[東京大学] 博士(理学)[東京大学]
学歴	東京大学大学院 理学系研究科 博士課程 天文学専攻[2007年03月修了]
職歴	<p>2004年4月～2006年3月 国立天文台リサーチ・アシスタント</p> <p>2006年4月～2007年3月 日本学術振興会特別研究員(DC2)</p> <p>2007年4月～2008年3月 日本学術振興会特別研究員(PD)</p> <p>2008年4月～2009年3月 国立天文台研究支援員</p> <p>2009年4月～2011年3月 Postdoctoral Fellow, Academia Sinica, Institute of Astronomy and Astrophysics (Republic of China)</p> <p>2011年4月～2014年3月 国立天文台研究員</p> <p>2014年4月～2015年2月 千葉工業大学学習支援センター学習支援員(専任講師相当)</p> <p>2014年4月～現在に至る 国立天文台特別客員研究員</p> <p>2015年2月～2017年3月 茨城大学 大学教育センター 准教授</p> <p>2017年4月～現在に至る 茨城大学 全学教育機構 准教授(所属部署の名称変更)</p>
専門分野	天文学 素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
教育研究概要	<p>1.「研究」</p> <p>初期宇宙の物理過程に対する原初磁場の影響を研究。特に、相対論的宇宙論と電磁流体力学に対応した、原初磁場の空間分布を数値的に計算するプログラムを開発し、統計的な手法を駆使し、宇宙背景放射と物質密度場に対する原初磁場の影響に関する研究の発展に貢献してきた。最近は、観測事実をもとに理論モデルを検証する観測的宇宙論の手法により、原初磁場を考慮したビッグバン元素合成やダークマター候補となるX粒子探索等の素粒子論・原子核理論に関連する研究も行っている</p> <p>2.「教育」</p> <p>物理学と数学の授業について、その成績と授業出席について統計的に調査し、その結果を反映した基礎教育改善のための授業計画の立案、教材・板書ノート・教科書作成、および試験問題作成を行う。また、学習相談の専用窓口で、多くの学生の学習相談に対応しつつ、より多くの学生が気兼ねなく学習相談できる環境の改善を推進してきた。</p> <p>(キーワード)宇宙論 宇宙背景放射 原初磁場 大規模構造形成 ビッグバン元素合成</p>
所属学会	Japan SKA Consortium 日本天文学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)力と運動, 微積分学, 力と運動, 力学入門【1Q】, 力学基礎【2Q】, 自然科学の概観+物質と生命

平成 30 年度における研究業績

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・単著]山崎大「物理学基礎教育におけるグループワークの学習効果の検証と課題」, 茨城大学全学教育機構論集. 大学教育研究, **2**, 57-64(2019 年 03 月)
2. [研究論文(国際会議プロシーディングス)・単著]Dai G. Yamazaki "CMB weak lensing with the primordial magnetic field", Proceedings of the IAU Focus Meeting 8: New Insights in Extragalactic Magnetic Fields, XXXth IAU General Assembly, (2018 年 11 月)
3. [研究論文(学術雑誌)・単著【査読あり】]"Impact of a primordial magnetic field on cosmic microwave background B modes with weak lensing", Physical Review D, **97**, 103525, 103525-1-103525-8(2018 年 05 月 24 日)

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 山崎 大「宇宙論的観測による原初磁場制限の現状」第7回観測的宇宙論ワークショップ[2018 年 11 月 13 日]
2. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 山崎 大「原初磁場の制限における問題点」日本天文学会 2018 年秋季年会 [2018 年 09 月]
3. [口頭発表(一般)・国際会議(単独)] Dai G. Yamazaki "CMB weak lensing with the primordial magnetic field" IAU Focus Meeting FM8: New Insights in Extragalactic Magnetic Fields(Vienna, August) [2018 年 08 月 29 日]

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

○ 兼業・兼職

1. [その他] 国立天文台・特別客員研究員(2014 年 04 月～)

○ 学外教育

1. [公開講座]"AI・データサイエンス入門", , ,

○ 地域協力活動

1. 国立大学教養教育実施組織[その他公的社会活動]"平成 30 年度国立大学教養教育実施組織会議 事例報告「茨城大学“科学の基礎 質問室”」[平成 30 年度国立大学教養教育実施組織会議](2018 年 06 月)

平成 30 年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]若手研究(B)(代表)"原初磁場を考慮した複合ビッグバン元素合成モデルの展開", 416 万円 (2016 年 04 月 01 日～2019 年 03 月 31 日)

平成 30 年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 「全学教育機構 共通教育部 自然・環境・科学部会」[部会長](2017 年 04 月～)
2. 「全学教育機構 学術委員会」[委員](2017 年 04 月～)
3. 【大学入試業務】(2018 年 11 月)
4. 「全学教育機構 共通教育部 AI データサイエンス部会」[委員](2018 年 04 月～2019 年 03 月)

5. 【大学入試業務】(2018年01月)

○ その他の校務

1. [茨城大学 力学教科書編集委員会 委員長](2015年02月～)

業務内容:統一授業「力と運動」で使用する教科書の作成と編集のための委員会

2. [統一授業「力と運動」運営業務](2015年02月～)

業務内容:統一授業「力と運動」(7クラス分)のeラーニング作成、期末試験作成補助、試験採点補助、成績統計作業、授業ノート作成、授業スライド作成、中間模擬試験作成と採点。

3. [力学の基礎テスト作成・採点・クラス分け](2015年02月～)

業務内容:統一授業「力と運動」のクラス分けのための力学の基礎テスト作成、採点、クラス分け。

4. [茨城大学数理解析への「微分積分の基礎」編集委員会 委員](2015年02月～)

業務内容:統一授業「微積分学」で使用する教科書の作成と編集のための委員会

5. [統一授業「微積分学」運営業務](2015年02月～)

業務内容:統一授業「微積分学」(7クラス分)のeラーニング作成補助、期末試験作成補助、試験採点補助、成績統計作業補助。

6. [微分積分の基礎テスト作成協力](2015年02月～)

業務内容:微分積分の基礎テスト作成協力 統一授業「微積分学」のクラス分けのための基礎テスト作成協力

共通教育部門		氏名 大森 真
職名	講師	
学位	第二言語研究 修士[ハワイ大学 マノア校]	
学歴	<p>ハワイ大学 マノア校大学院 第二言語研究学科 修士課程 第二言語研究(アメリカ合衆国)[2006年12月修了]</p> <p>ハワイ大学 マノア校大学院 第二言語研究学科 博士課程 第二言語研究(アメリカ合衆国)[(年不明)その他]</p>	
職歴	<p>国立大学法人 茨城大学 全学教育機構 英語専任講師(常勤)(2017年4月～)</p> <p>国立大学法人 茨城大学 大学教育センター 英語専任講師(常勤)(2014年4月～2017年3月)</p> <p>非営利団体 アジア太平洋交流センター(Center for Asia Pacific Exchange; ハワイ大学と提携し、ハワイ州政府に帰属する教育系非営利団体) 講師兼カリキュラム専門家(2011年6月～2012年8月)</p> <p>ハワイ大学マノア校 第二言語研究学科 非常勤講師 [担当講座] 第二言語習得論 第二言語教授法 第二言語教授法一読解と作文 第二言語教授法一聴解と会話(2007年8月～2012年5月)</p> <p>ハワイ大学マノア校 English Language Institute リスニング・スピーキングセクション主任講師(Lead Teacher)(非常勤)(2007年1月～2007年5月)</p> <p>ハワイ大学マノア校 English Language Institute 非常勤講師 リスニング・スピーキングセクション(中級・上級)担当(学部生・大学院生対象)(2006年1月～2006年12月)</p>	
専門分野	英語教育	
教育研究概要	<p>[教育]</p> <p>Integrated English III-A, III-B コーディネーターとして、H29 年度からの新コースである 2 コースのカリキュラム、教材等作成、並びに運営を行った。</p> <p>Advanced English プランニング・ディレクターとして、H30 年度開講の Advanced English III-A, III-B のカリキュラム、教材等作成を行った。</p> <p>PE 部会 FD 委員として、FD の企画運営を行った。H29 年度の新しい試みとして、新人教員対象 FD、矢嶋教員を招いての学生支援 FD を実施した。後者は、部会内 FD と全体 FD の両方を実施した。</p> <p>English Lounge(英語学習相談)担当として、主として Integrated English III-A, III-B 受講者の学修支援を行った。</p> <p>[教育研究プロジェクト(Action Research Project)]「共通シラバス英語科目における質保証と学習支援への取り組み:パフォーマンス評価におけるルーブリック開発」</p> <p>自身がコーディネーターとしてカリキュラム作成・運営し、かつ自らも教えている Integrated English III-A, III-B、並びに習熟度の異なる Integrated English II-A, II-B において、プレゼンテーションとエッセイの詳細なルーブリックの開発と学生への公表による学修への意識の変化を調査する。プロジェクトリーダーとして、全学教育機構上田教員、矢嶋教員と共同研究を進めている。</p> <p>[研究プロジェクト]「生徒達の英語に上積みするのを助ける」:英会話交流授業の会話分析</p> <p>「生徒達の英語に上積みするのを助ける」ことを目的とした英会話交流プログラムを会話分析の手法を用い</p>	

	<p>て分析し、1) 会話パートナー達は、どのようにして「生徒達の英語に上積みするのを助け」ているのか。 2) 会話パートナー達は、各々違う手法で「生徒達の英語に上積みするのを助け」、生徒達に多様な会話体験や教育的体験を提供しているか。の2点を明らかにする。</p> <p>(キーワード)(応用)会話分析、成員性カテゴリー化分析、異文化間性の構築、英語教授法、ルーブリック</p>
所属学会	一般社団法人 大学英語教育学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)Integrated English IIIA, Advanced English IIIA, Integrated English IIIB, Advanced English IIIB, 総合英語(レベル4)

平成 30 年度における研究業績

[教育研究プロジェクト(Action Research Project)] 「共通シラバス英語科目における質保証と学習支援への取り組み:パフォーマンス評価におけるルーブリック開発」

自身がコーディネーターとしてカリキュラム作成・運営し、かつ自らも教えている Integrated English III-A, III-B、並びに習熟度の異なる Integrated English II-A, II-B において、プレゼンテーションとエッセイの詳細なルーブリックの開発と学生への公表による学修への意識の変化を調査する。プロジェクトリーダーとして、全学教育機構上田教員、矢嶋教員と共同研究を進めている。自身の担当する IE III-A, III-B では、本年度後期まで3学期間に渡りデータを収集した。来年度前学期には、データを分析し、論文を共同執筆する予定である。

平成 30 年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 「TOEIC 企画運営」[運営委員長](2018 年 08 月～)
2. 「総合英語/PE クラス編成委員」[副委員長(2017-2018 前期)](2014 年 04 月～)
3. 「予算委員会(機構)」(2018 年～)
4. 「PE 質保証 学生支援」[委員長](2018 年前期)
5. 【大学入試業務】(2017 年～)
6. 「IE III コーディネーター」(2017 年 04 月～)
7. 「英語学習相談」(2014 年 04 月～)

共通教育部門	氏名 鈴木 聡子
--------	----------

職名	講師
学位	博士 (Ed.D) [Temple University, Japan Campus] 修士 (M.Ed) [Temple University, Japan Campus]
学歴	Temple University, Japan Campus Graduate College of Education 修士課程 TESOL [2007 年修了] Temple University, Japan Campus Graduate College of Education 博士課程 Curriculum, Instruction, and Technology [2017 年修了]
職歴	青山学院大学非常勤講師 (2017 年 4 月～2018 年 3 月) 文教大学非常勤講師 (2017 年 4 月～2018 年 3 月) 日本大学非常勤講師 (2017 年 4 月～2018 年 3 月) 文教大学非常勤講師 (2009 年 4 月～2016 年 3 月) テンプル大学ジャパンキャンパス生涯教育プログラム非常勤講師 (2009 年 9 月～2011 年 4 月) 青山学院大学非常勤講師 (2007 年 4 月～2016 年 3 月)
専門分野	外国語教育
教育研究 概要	音声録音再生ソフトを用いた発音・リスニング・スピーキング指導とその効果の検証 (キーワード) 音読、シャドーイング、発音、スピーキング、リスニング、モチベーション、自律学習
所属学会	全国英語教育学会 外国語教育メディア学会 (LET)
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目) Integrated English II A, Advanced English III A, Integrated English II B, Advanced English III B

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 学会発表等</p> <p>1. [研究論文 (大学, 研究機関紀要) (単著)] Factors predicting motivation for and engagement in production tasks among Japanese university students 茨城大学全学教育機構論集 大学教育研究 2号 2019</p> <p>2. [口頭発表 (一般)・国際会議 (単独)] "Motivation for and engagement in production tasks among Japanese university students" 54th RELC International Conference and 5th Asia-Pacific LSP and Professional Communication Association Conference [2019 年 03 月 11 日]</p> <p>3. [口頭発表 (一般)・国際会議 (共同)] Yo Hamada & Satoko Suzuki "Shadowing for perceptual adaptation toward Chinese accented speech" International Conference on English Teaching and Learning (Taiwan, R.O.C.) [2018 年 05 月 18 日]</p>
--

共通教育部門	氏名 館 深雪
--------	---------

職名	講師
学位	教育学部英語教育学科学士[ボブ・ジョーンズ大学] 教育学研究科修士課程心理教育学修士[ボブ・ジョーンズ大学大学院] アーツ・サイエンス研究科修士課程心理教育学専攻言語教育修士[国際基督教大学]
学歴	国際基督教大学大学院 アーツ・サイエンス研究科修士課程 修士課程 心理教育学専攻言語教育(日本) [2015年03月修了] ボブ・ジョーンズ大学大学院 修士課程 カウンセリング科(アメリカ合衆国)[2000年05月修了] ボブ・ジョーンズ大学 教育学部 英語教育学科(アメリカ合衆国)[1998年05月卒業]
職歴	茨城大学 全学教育機構講師(2015年2月～) 株式会社ゼウス・エンタープライズバイリンガル・コーディネーター課課長(2008年9月～2013年3月) Calvary Christian Academy(北マリアナ諸島サイパン島)英語教師(中等部、高等部)(2000年8月～2007年7月)
専門分野	英語教育、言語教育、カウンセリング
教育研究概要	コミュニケーション意欲の影響を調査し、大学英語教育および企業英語使用現場にて取り入れるための方法における研究 (キーワード) コミュニケティブ コンペテンス、コミュニケーション意欲、企業英語
所属学会	全国英語教育学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)Integrated English ⅢA, Advanced English ⅢA, Integrated English ⅢB, Advanced English ⅢB, Integrated English Ⅲ B, Cross-cultural Understanding, Bilingualism

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・共著]館深雪、野村幸代、藤井拓哉「総合英語レベル5のCAN DOリストを用いたカリキュラム評価」, 茨城大学全学教育機構論集, 2, 75-83(2019年03月)</p>
--

平成 30 年度における大学運営・機構運營業務

<p>○ 委員会・入試などの業務(機構)</p> <p>【大学入試業務】</p> <p>○ 全学的委員会の業務</p> <p>「グローバル・イングリッシュ・プログラム部会」</p> <p>「プラクティカル・イングリッシュ部会」</p> <p>○ その他の校務</p> <p>学内文書英訳業務</p>

③ 平成 30 年度における教員の活動

学生支援部門	氏名 小磯 重隆
--------	----------

職名	准教授
学位	修士(法学)[筑波大学]
学歴	金沢大学大学院 社会環境科学研究科 博士後期課程[2004年10月中退]
職歴	JUKI 株式会社 工業用マシン事業部縫製能率研究所(1987.4~1999.3) 雇用促進事業団(独立行政法人雇用・能力開発機構)(1999.4~2004.10) 国立大学法人弘前大学 教育推進機構キャリアセンター准教授(2004.11~2016.6) 国立大学法人茨城大学 全学教育機構キャリアセンター准教授(2016.7~現在)
専門分野	社会法学(労働法) 社会学(職業能力開発) 教育社会学(キャリア教育)
教育研究概要	多人数アクティブラーニングの実践モデルの研究、キャリア教育教材、若年者の雇用問題 (キーワード)キャリア教育、労働法、職業能力開発、男女共同参画、地方創生
所属学会	日本キャリア教育学会 日本産業教育学会 日本労働法学会 日本キャリアデザイン学会
受賞歴	日本学術振興会「科研費」審査委員 表彰(2016)
担当科目	(教養科目)公共社会【2Q】仕事を考える, 公共社会 (教養科目)公共社会【1234Q】インターンシップ実習 I, 公共社会

平成 30 年度における研究業績

<p><研究会報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働法研究会(2018年1月)「労働契約法18条、無期転換等」第1回報告 ・労働法研究会(2018年6月)「労働契約法18条、無期転換等」第2回報告

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

<p>○ 行政機関等での委員就任</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「茨城労働局新卒者等就職・採用応援本部」会議及び「茨城県離学者支援協議会」茨城県[委員] 2. 「平成30年度茨城県地域活性化雇用創造プロジェクト協議会」茨城県[委員] <p>○ 地域協力活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 青森県若年者就職支援センター「教職員のための「キャリア相談員養成研修(八戸)」講師」(2018年12月) 2. 青森県若年者就職支援センター「教職員のための「キャリア相談員養成研修(青森)」講師」(2018年01月) 3. 青森県若年者就職支援センター「教職員のための「キャリア相談員養成研修(弘前)」講師」(2018年01月) 4. 茨城県キャリア支援ネットワーク「若手社員との交流会」(2018年02月)
--

平成 30 年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]「多人数アクティブラーニング実践モデルの研究」, (2015年04月01日～2018年03月31日)

平成30年度における国際交流活動

- 1)「留学生のための就職研修会(阿見・日立・水戸各キャンパス)」
(連携協定)一般財団法人 日本国際協力センター(JICE)

平成30年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 「全学教育機構(教員選考委員会)」[委員](2018年11月)
2. 「茨城COCプラス 教育プログラム開発委員会」[委員(インターンシップワーキンググループ代表)](2018年04月～)
3. 「共通教育部門 専門部会(社会と生活部会)」[部会員](2018年01月～)
4. 「就職支援・キャリア教育推進部会」[構成員](2017年07月～)
5. 「全学教育機構 学生支援部門会議」[構成員](2017年07月～)
6. 「茨城大学COC統括機構 COC地域共生委員会」[委員](2017年07月～)
7. 「茨城大学地元就職推進委員会」[委員](2017年04月～)

○ 全学的委員会の業務

- 「みんなの「イバダイ学」プロジェクト」[運営メンバー](2018年11月～)
- 「共通教育部門 専門部会(社会と生活部会)」[構成員](2018年04月～)
- 「茨城COCプラス推進協議会(教育プログラム開発委員会)」[ワーキンググループリーダー](2018年04月～)
- 「茨城大学COC統括機構 COC地域共生委員会」[委員](2018年04月～)
- 「社会連携センター地域連携部門会議」[委員](2017年07月～)
- 「点検評価委員会」[委員](2017年07月～)
- 「教務ポータル専門委員会」[委員](2017年07月～)
- 「全学教育機構 学生支援部門会議」[構成員](2017年07月～)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. [留学生のための就職研修会(阿見キャンパス)](2018年10月～2018年12月)
2. [留学生のための就職研修会(日立キャンパス)](2018年10月～2018年12月)
3. [iOPラボ「つまみぐインターンシップ」](2018年10月～)
4. [留学生のための就職研修会(水戸キャンパス)](2018年10月～2018年12月)
5. [一般財団法人 日本国際協力センターと茨城大学との連携協定](2018年04月～2019年03月)

○ その他の校務

1. [平成30年度茨城大学オープンキャンパス](2018年07月)
- 「保護者のための就職講座」大学と保護者でつくる就職支援 講話「自分の子どもに”どんな就職”をさせたいですか」

③ 平成 30 年度における教員の活動

学生支援部門	氏名 矢嶋 敬紘
--------	----------

職名	講師
学位	修士(教育学)[茨城大学]
学歴	早稲田大学 人間科学部[卒業] 茨城大学大学院 教育学研究科 修士課程[修了]
職歴	
専門分野	社会福祉学 臨床心理学
教育研究概要	(キーワード)
所属学会	日本心理臨床学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)人間とコミュニケーション【2Q】障害者理解と共生, 人間とコミュニケーション【集中】障害者理解と共生, 健康の科学【1Q】心と体の健康科学, 健康の科学【3Q】心と体の健康科学

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [・]矢嶋敬紘, 額賀沙弥香, 門馬綾, 曾田陽子, 沼田世里, 深谷佳子, 中井川香梨, 西川陽子「茨大なんでも相談室及びバリアフリー推進室の利用状況と今後の課題」, 茨城大学全学教育機構論集, 1, 141-156(2018 年)</p>

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

<p>○ 学協会での役職</p> <p>1. 茨城県臨床心理士会, 理事, 産業領域委員会委員長(2018 年～)</p> <p>2. いばらき地域づくり大学・高専コンソーシアム, 障害学生支援委員会副委員長(2018 年～)</p> <p>○ 地域協力活動</p> <p>1. 教員免許状更新講習 講師(2017 年～)</p> <p>○ 講演会・シンポジウム</p> <p>1. 独立行政法人日本学生支援機構 障害学生支援専門テーマ別セミナー「オンキャンパス支援と産学官連携(話題提供)」[講師](2018 年 11 月)</p> <p>2. 茨城キリスト教大学経営学部 FD 研修会「コミュニケーションが苦手な学生と大学教育」[講師](2019 年 3 月)</p>
--

平成 30 年度における大学運営・機構運営業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 「全学教育機構 web サイト開設準備 TF」[委員](2018 年 02 月～)
2. 「全学教育機構 学生支援部門会議」[委員](2017 年 04 月～)

○ 全学的委員会の業務

1. 「全学教育機構 バリアフリー推進会議」[障害学生修学支援員](2017 年 04 月～)
2. 「全学教育機構 学生生活支援部会」[学生相談員](2017 年 04 月～)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. 工学部 FD/SD「工学部学生支援の協業について」 [講師](2018 年 5 月)
2. ダイバーシティ推進室「メンタリングの基本的な心構え」 [講師](2018 年 9 月)

○ その他の校務

1. 障害等のある学生支援業務
2. 学生相談業務
3. バリアフリー推進室(水戸キャンパス、日立キャンパス、阿見キャンパス)運営業務
4. なんでも相談室(水戸キャンパス、日立キャンパス、阿見キャンパス)運営業務
5. ピアサポーター育成・運営業務

国際教育部門	氏名 安 龍 洙
--------	----------

職名	教授
学位	博士(文学)[東北大学]
学歴	東北大学大学院 文学研究科 博士後期課程 言語科学専攻[2000年修了]
職歴	茨城大学留学生センター助教授(2003年4月～2008年3月) 茨城大学留学生センター教授(2008年4月～2017年3月) 茨城大学全学教育機構教授(2017年4月～)
専門分野	日本語教育
教育研究概要	日本社会における異文化理解の変容に関する事例研究 日本社会における外国人 (①ニューカマー②オールドカマー③その他) と日本人 (①外国人との接触頻度の高い日本人②外国人との接触頻度の低い日本人③その他) の異文化理解のあり方及びその変容について PAC 分析法を用いて認知的・情意的な観点から探っている。 (キーワード) 異文化理解、PAC 分析法、外国人と日本人の相互理解、質的研究
所属学会	国立大学留学生指導研究協議会 アジア・ヨーロッパ未来学会 日本語教育学会 第二言語習得研究会 韓国日本近代学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)学術日本語基礎/学術日本語 I, 日本語教育概論, 表現・言語系科目/思想・文学【1Q】日本語を考える(日本語の諸相), 表現・言語系科目, 多文化共生 (専門科目)日本語教授法演習, 日本語教授法演習 (大学院科目)日本語表現法 I

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> [研究論文(学術雑誌)・単著【査読あり】]安龍洙「国費留学生の日本留学観の変化に関する一考察—日韓プログラム 14 期生を対象にした 4 年間の追跡調査から—」, 留学生交流・指導研究, 20, 97-114(2018 年) [(MISC)研究発表要旨(全国大会, その他学術会議)・共著【査読あり】]太田亨,安龍洙,村岡貴子「韓国人理工系学部入学前予備教育生の「論理的文章」に関する意識について—第 18 期日韓プログラム生へのアンケート結果より—」, 第 20 回専門日本語教育学会研究討議会誌, 16, 28-29(2018 年) [研究論文(大学, 研究機関紀要)・共著【査読あり】]松田勇一・安龍洙「日本社会における中国人交換留学生の異文化理解に関する一考察」, グローバル教育研究, 1, 69-84(2018 年) [研究論文(大学, 研究機関紀要)・共著【査読あり】]石鍋浩・安龍洙「日本社会における英語圏交換留学生の異文化理解に関する一考察」, グローバル教育研究, 1, 57-68(2018 年) [研究論文(大学, 研究機関紀要)・共著【査読あり】]青木香代子・安龍洙「日本社会における東南アジア出身交換
--

留学生の異文化理解に関する一考察」, グローバル教育研究, 1, 13-28(2018年)

6. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・単著【査読あり】【依頼/招待】]安龍洙「東欧出身短期留学生の日本留学観に関する一考察」, グローバル教育研究, 1, 1-12(2018年)

○ 学会発表等

1. [口頭発表(招待・特別)・] 安龍洙「日本で学ぶ留学生の日本のポップカルチャーのとらえ方について」(ブルガリア)ソフィア大学・(日本)国際交流基金 国際カンファレンス「Pop-culture and Youth in Japan and Bulgaria」[2019年03月11日]

2. [口頭発表(一般)・国内会議(共同)] 太田亨・安龍洙・菊池和徳・村岡貴子「韓国人文系大学生と日韓理工系学生の「論理的文章」に関する意識の比較分析」第21回専門日本語教育学会研究討議会(下関市立大学)[2019年03月04日]

3. [口頭発表(招待・特別)・国内会議(単独)] 安龍洙「日韓プログラム留学生の日本留学観について」2018年度日韓共同理工学部留学生事業協議会(神戸大学百年記念館(神大会館))[2018年06月22日]

平成30年度における社会的活動、地域貢献など:

○ 学協会での役職

1. 国立大学留学生指導研究協議会, 代表幹事(2016年07月～)
2. アジア・ヨーロッパ未来学会, 理事(2011年01月～)

平成30年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)(代表)「日本社会における外国人と日本人の異文化相互理解に関する質的実証研究(研究代表者)」(2017年04月01日～2021年03月31日)
2. [科研費]基盤研究(B)(分担)「非漢字圏アジア留学生のための日本語教育と理工系専門教育の高大接続を目指す協働研究(研究分担者)」(2016年04月01日～2020年03月31日)

○ 共同研究・受託研究

1. [国内共同研究]「外国人と日本人の相互理解に関する質的実証研究」, (2012年04月～)

国際教育部門	氏名 八若 壽美子
--------	-----------

職名	教授
学位	修士(人文科学)[お茶の水女子大学]
学歴	お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科 博士後期課程 比較文化学[(2003年単位取得満期退学)]
職歴	茨城大学全学教育機構教授(2017年4月～)
専門分野	日本語教育
教育研究概要	(キーワード)日本語教育、自律的言語学習、留学評価、ライフストーリー
	1.教育概要: 日本語教育、留学生教育、日本語教師養成 2.研究概要: 元留学生のライフストーリー・インタビューから留学評価と日本語学習の関連についての研究を進めている。
所属学会	日本語教育学会 ヨーロッパ日本語教師会 日本言語文化学会
受賞歴	平成 14 年度茨城大学教育研究開発センター推奨授業表彰(2003)
担当科目	(基盤教育科目)学術日本語 I /学術日本語 II B, 多文化社会と日本語教育, 5 学部混合地域 PBL IV, 表現・言語系科目/思想・文学【1Q】日本語を考える(日本語の諸相), 表現・言語系科目/思想・文学【4Q】日本語を考える(日本語文法) (専門科目)日本語教授法演習 (日本語研修コース) 日本語レベル 4 総合 A・B, 日本語レベル 3 総合 A・B, 日本語レベル 3 口頭表現 A・B

平成 30 年度における研究業績

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・単著【査読あり】]八若壽美子「元留学生のライフストーリーに見る留学評価一家族と日本で生活する元留学生の場合」, 茨城大学全学教育機構論集 グローバル教育研究, 2, 29-45(2019年02月)

○ 学会発表等

1. [ポスター発表・国際会議(共同)] 八若壽美子、池田庸子「元交換留学生のライフストーリーに見る日本留学の意義」ヴェネチア 2018 年日本語教育国際研究大会(ヴェネチア Ca'Foscari University of Vinece(Italy)) [2018年08月04日]

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

○ 地域協力活動

1. 5 学部混合地域 PBL IV 授業担当

2. 公開講座『茨城大学で学ぶ留学生が見た日本社会』(6月2日)
3. 公開講座 『茨城大学で学ぶ留学生達の出身国』(7月28日)

平成30年度における科学研究費補助金などの受領

1. 科学研究費補助金基盤研究(C)(課題番号 17K02839 研究代表者)「元留学生の留学評価と日本語学習との関連に関する実証的研究」

平成30年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

1. 「全学教育機構人事委員会」[委員](2017年～2019年03月)
2. 「日本語教育プログラム部会」[部会長](2017年04月～2019年03月)
3. 「多文化理解部会」[委員](2017年04月～2019年03月)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. [外国人学生のための進学説明会](2018年07月)

○ その他の校務

1. 外国人留学生支援及びチューター指導に関する業務

・「チューターガイダンス」(2018年04月09日)

・「9月来日留学生サポート隊ガイダンス」(2018年9月20日)

・「4月来日留学生サポート隊ガイダンス」(2019年3月29日)

国際教育部門	氏名 池田 庸子
--------	----------

職名	教授
学位	修士[ペンシルバニア州立大学]
学歴	ペンシルバニア州立大学大学院 比較文学科 修士課程 比較文学((BLANK))[1993年修了]
職歴	茨城大学留学生センター教授(2010年4月～) 茨城大学留学生センター助教授(2002年4月～2010年3月) 関西外国語大学助教授(1998年4月～2002年3月) 関西外国語大学専任講師(1993年9月～1998年3月) ペンシルバニア州立大学 TA(1991年9月～1993年8月) イースタンニューメキシコ大学 TA(1990年9月～1991年5月)
専門分野	日本語教育
教育研究概要	日本語教育、教材開発、文学教育、多読教育、留学生に対する質的研究 (キーワード)日本語教育、教材開発、多読、
所属学会	全米日本語教育学会 日本語教育学会 日本語教育方法研究会 留学生教育学会
受賞歴	なし
担当科目	(基盤教育科目;リベラルアーツ科目) 多文化理解;異文化コミュニケーション;「学術日本語ⅡA」 多文化理解;異文化コミュニケーション;「短期海外研修Ⅰ、Ⅱ(スペイン)」 多文化理解;ヒューマニティーズ;「日本語を考える」 (全学共通プログラム科目) 「日本語教授法Ⅱ」,「日本語教授法演習」,「日本語教授法演習(海外)」 (日本語研修プログラム) レベル1～4

平成 30 年度における研究業績

○ 著書・論文等

1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・単著【査読あり】]池田庸子「元日本留学生のライフストーリーに見る留学評価—交換留学から英語教育の道へ—」, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究, 2, 47-58(2019年02月)
2. [研究論文(研究会, シンポジウム資料等)・単著]池田庸子「多読から創作へ—中級日本語学習者を対象とした多読授業における試み—」, 日本語教育方法研究会誌, 25, 1, 8-9(2018年09月08日)

○ 学会発表等

1. [口頭発表(一般)・国際会議(共同)] シャカル佳子、池田庸子、瀬尾匡輝「日米間のEメール交換、ズームミーティング

による授業の活性化」全米日本語教育学会(コロラド州デンバー)[2019年03月21日]

2. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)]「多読から創作へ—中級日本語学習者を対象とした多読授業における試み—」日本語教育方法研究会[2018年09月08日]

3. [ポスター発表・国際会議(共同)] 八若壽美子・池田庸子「元交換留学生のライフストーリーに見る日本留学の意義」ヴェネツィア 2018年日本語教育国際研究大会[2018年08月04日]

平成30年度における社会的活動、地域貢献など:

○ 講演会・シンポジウム

1. 「全米日本語教育学会 Spring Conference ランチセミナー(国外)」, 全米日本語教育学会 Spring Conference(コロラド州デンバー)[その他](2019年03月)

○ 地域協力活動

平成30年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費](分担)「元留学生の留学評価と日本語学習に関する実証的研究」, 0万円 (2017年04月01日~2020年03月31日)

平成30年度における国際交流活動

1)「コメニウス大学(スロバキア)との部局間学生交流協定締結」(連携協定あり)[]・コメニウス大学人文学部(スロバキア)

2)「アルカラ大学スペイン語研修」(連携協定あり)の実施 参加学生4名

3)「ウィスコンシン州立大学スペリオル校との授業交流」

平成30年度における大学運営・機構運営業務

○ 全学的委員会の業務

「ダイバーシティ推進委員会」(2018年04月~2020年03月)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

12. [全学教育機構点検評価委員会](2017年04月~2019年03月)

3. [全学教育機構予算・施設委員会委員](2017年04月~2019年03月)

4. [就職支援・キャリア教育推進部会](2017年04月~2019年03月)

○ その他の校務

1. [茨城大学留学生同窓会](2017年10月~)

2. [日本語研修コース継続性ガイダンス](2017年09月~)

3. [日本語研修コース学外研修旅行](2017年06月~2018年02月)

4. [海外留学説明会](2017年05月~)

5. [TOEFL 学内実施企画](2017年05月~2018年02月)

6. [グローバル教育センター主任](2017年04月~2019年03月)

国際教育部門	氏名 青木 香代子
--------	-----------

職名	講師
学位	教育学博士[サンフランシスコ大学大学院]
学歴	サンフランシスコ大学大学院 教育学部 博士課程 国際・多文化教育(アメリカ合衆国)[2008年05月修了]
職歴	中央大学文学部事務室嘱託職員(2013年2月～2017年3月) 国際教養大学非常勤講師(2012年6月～2012年7月) 桑港学園日本語学校講師(2008年9月～2012年3月)
専門分野	教育学
教育研究概要	専門は多文化教育。2016年～2018年にかけて、海外体験学習における参加学生の異文化間能力に関して、日本人性の視点をもとに分析・考察を行った。また、2018年度より、アメリカ合衆国を中心に展開されてきた社会正義のための教育(social justice education)について、批判的教育学、批判的人種理論、白人性、特権性、アイデンティティの交差性の視点などから考察し、日本における社会正義のための教育の理論・実践研究を行っている。 (キーワード)多文化教育 異文化間教育 国際理解教育 批判的教育学
所属学会	日本教育社会学会 日本国際理解教育学会 日本移民学会 日本オーラル・ヒストリー学会 Comparative and International Education Society 異文化間教育学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)多文化社会と日本語教育, 5学部混合地域 PBL IV, 学術日本語 I (応用), 表現・言語系科目+グローバルスタディーズ, 人間・文化系科目+多文化共生, 表現・言語系科目+グローバルスタディーズ, 人間・文化系科目+多文化共生, 表現・言語系科目, 多文化共生(短期海外研修 I・II サンフランシスコボランティア) (専門科目)日本語教授法演習

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <p>1. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・共著【査読あり】]青木香代子・安龍洙「中国人短期留学生の日本留学観に関する一考察」, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究, 2, 13-27(2019年02月)</p> <p>2. [研究論文(大学, 研究機関紀要)・単著【査読あり】]「アメリカにおける社会正義のための教育の可能性ー多文化教育の批判的検討を通してー」, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究, 2, 103-115(2019年02月)</p> <p>3. [その他・編集]青木香代子「サンフランシスコボランティア体験学習を通して見た多文化社会アメリー2018年度短期海外研修 サンフランシスコボランティア報告書ー」2019年2月</p> <p>○ 学会発表等</p>
--

1. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)]「多」文化環境におけるアイデンティティ—日台ダブルのライフストーリーを一事例として—」異文化間教育学会 第 39 回大会(新潟大学)[2018 年 06 月 10 日]

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

○ 学外教育

1. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「日本人とはだれか? 多様化する社会についてみんなで考えてみよう」, 茨城大学グローバル教育センター

平成 30 年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]基盤研究(C)(分担)「日本社会における外国人と日本人の異文化相互理解に関する質的実証研究」, 0 万円 (2017 年 04 月 01 日~2021 年 03 月 31 日)

平成 30 年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

学術委員会委員

○ その他の校務

1. 日本語研修コースコーディネーター
2. グローバル教育センター 国際交流パーティー

国際教育部門		氏名 瀬尾 匡輝
職名	准教授	
学位	学士(第二言語としての英語教授法)[ハワイパシフィック大学] 副専攻(社会科学)[ハワイパシフィック大学] 学士(宗教学)[ハワイ大学マノア校] 修士(第二言語研究)[ハワイ大学マノア校] 博士(言語学)[上智大学]	
学歴	上智大学大学院 外国語学研究科 博士課程 言語学専攻[2014年03月単位取得満期退学] ハワイ大学マノア校大学院 第二言語研究学科 修士課程(アメリカ合衆国)[2008年12月修了] ハワイ大学マノア校 人文学部 宗教学科(アメリカ合衆国)[2006年08月卒業] ハワイパシフィック大学 国際学部(アメリカ合衆国)[2005年05月卒業]	
職歴	茨城大学全学教育機構国際教育部門准教授(2019年4月～) 茨城大学全学教育機構国際教育部門講師(2017年4月～2019年3月) 茨城大学留学生センター講師(2015年4月～2017年3月) 香港理工大学 人文学院中文及雙語学系専任講師(2012年1月～2015年3月) 香港大学專業進修学院 助理講師(2009年9月～2011年12月) 香港大学專業進修学院 非常勤講師(2009年1月～2009年8月) コンコーディア・ランゲージ・ビレッジ 森の池教務主任(2007年～2008年) ハワイパシフィック大学 非常勤講師(2008年1月～2009年1月) コンコーディア・ランゲージ・ビレッジ 森の池 夏季日本語教師(2005年～2006年)	
専門分野	日本語教育 外国語教育 教育社会学	
教育研究概要	<p>言語教育(特に日本語教育)、教育社会学を専門としている。これまで海外を拠点に研究を行ってきたことから、海外における日本語教育のあり方を再考するべく、グローバル化の観点から研究を進めてきた。そして、動機づけの研究を行う中で、満足感や喜びを得るために外国語を学習する「余暇活動と消費としての外国語学習」を明らかにし、海外における外国語学習の意義を検討してきた。</p> <p>余暇的な外国語学習の存在を明らかにしていく中で、教育サービスを提供している学校や教師も様々な手法をとり、学習者の獲得を試みていることに気付いたことから、現在は言語教育の商品化について香港とベトナムをフィールドに研究を進めている。</p> <p>(キーワード)外国語/第二言語としての日本語教育(JSL/JFL)、批判的応用言語学、第二言語習得研究のJSL/JFLへの応用(e.g. タスク中心教授法、内容中心教授法)、グローバリゼーションと言語教育、実践研究、質的研究、批判的教育</p>	
所属学会	海外日本語教育学会 大学日本語教員養成課程研究協議会 日本教師教育学会 日本教育工学会 国立大学留学生指導研究協議会 開発教育協会 国際理解教育学会 異文化間教育学会 日本質的心理学会 日本教育社会学会 言語文化教育研究学会 日本語教育方法研究会 カナダ日本語教育振興会 アカデミック・ジャパニーズ・グループ研究会 全国語学教育学会 香港日本語教育研究会 日本語教育学会	

受賞歴	The Patricia A. Williams Prize in Education (2005)
担当科目	<p>(日本語研修コース)日本語レベル3(漢字), 日本語レベル4(総合)</p> <p>(阿見日本語補習授業)集中日本語入門コース, 日本語入門 IA, 日本語入門 IB, 日本語初級 I, 日本語中級, 非漢字圏の人のための漢字</p> <p>(教養科目)5 学部混合地域 PBL IV, 表現・言語系科目/人間とコミュニケーション【1Q】Japanese Pop Culture A, 表現・言語系科目/人間とコミュニケーション【2Q】Japanese Pop Culture B, Studies in Contemporary Japan, Studies in Particular Field, 多文化共生 短期海外研修 I II (ブルネイ), 多文化共生 短期海外研修 I II (マレーシア)</p> <p>(専門科目)日本語教授法 I, 日本語教授法演習, 日本語教授法演習</p>

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 著書・論文等</p> <ol style="list-style-type: none"> [調査報告書・編者] 瀬尾匡輝「ブルネイってどんなところ?—2018 年度ブルネイ・ダルサラーム大学短期研修報告」, 茨城大学グローバル教育センター, (2019 年 03 月 01 日) [研究論文(大学, 研究機関紀要)・共著【査読あり】] 瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「映像を用いた実践共有の課題と可能性—日本語中級クラスにおけるインタビュー・プロジェクトの映像化から」, 茨城大学全学教育機構論集グローバル教育研究, 2, 87-90(2019 年 02 月) [研究論文(学術雑誌)・単著【査読あり】] 瀬尾匡輝「文法を重視する」という日本語教育に対する教師の考えはどのように作り出されているのか—言語教育のローカル化の視点から」, Journal CAJLE, 19, 23-41(2018 年 07 月) [研究論文(大学, 研究機関紀要)・単著【依頼/招待】] 瀬尾匡輝「消化不良のままうそつきで思いながら授業して」—海外で働く日本語教師の実践の構築・再構築」, 上智大学英語教員研究, 66, 22-43(2018 年 04 月 01 日) <p>○ 学会発表等</p> <ol style="list-style-type: none"> [ポスター発表・国内会議(単独)] 瀬尾匡輝「文化を批判的に教える—日本語教育副専攻課程における実践から」日本語教育方法研究会第 52 回研究会[2019 年 03 月 23 日] [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 瀬尾匡輝「マーケティングの視点から考察する言語教育サービスの商品化—香港の民間日本語教育機関を事例として」言語文化教育研究会第 5 回年次大会[2019 年 03 月 09 日] [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 瀬尾匡輝「つながりを売り出す言語教育サービスの商品化 —香港の民間日本語学校の事例をもとに」北東アジア言語教育研究会 第 1 回研究発表会[2019 年 03 月 03 日] [口頭発表(一般)・国際会議(単独)] 瀬尾匡輝「言語教育の商品化に対する学習者の意識 —香港の民間日本語学校で学ぶ成人日本語学習者へのインタビューから」第 12 回国際日本語教育・日本研究シンポジウム(香港)[2018 年 12 月 08 日] [ポスター発表・(単独)] 瀬尾匡輝「余暇活動として学ぶ学習者に対する言語教育サービスの商品化」日本語教育学会 2018 年度秋季大会[2018 年 11 月 25 日] [その他・国内会議(共同)] 瀬尾匡輝・瀬尾悠希子「日本語教師を目指す人向けの映像教材の開発」日本語教育学会 2018 年度秋季大会[2018 年 11 月 24 日] [その他・国内会議(単独)] 瀬尾匡輝「学生のレポートを電子書籍で出版する」第 20 回実践持ち寄り会[2018 年 11 月 03 日]

8. [口頭発表(一般)・国内会議(単独)] 瀬尾匡輝「ビジネスライクなところの違和感、あります」—言語教育の商品化と消費、その中にいる教師の葛藤とその克服」日本教育学会第 70 回大会[2018 年 09 月 03 日]
9. [口頭発表(一般)・国際会議(単独)] 瀬尾匡輝「言語教育の商品化に対する教師の意識—香港の民間日本語学校で働く教師へのインタビュー ーから」ヴェネツィア 2018 日本語教育国際研究大会[2018 年 08 月 03 日]
10. [シンポジウム・ワークショップ パネル(指名)・(単独)] 瀬尾匡輝「コミュニティと関わり、コミュニティに働きかけるプロジェクト活動—留学生と日本人学生が共に学ぶ授業実践から」『言語教育実践イマ×ココ』フォーラム 2018(学習院大学)[2018 年 05 月 25 日]
11. [口頭発表(一般)・国際会議(単独)] Masaki Seo “Commodifying Language Learning for Hobbyists: Lifelong Learning Schools in Hong Kong” Taiwan Association for Sociology of Education (TASE) 24th Annual Conference 2018 [2018 年 05 月 05 日]
12. [その他・(単独)] 瀬尾匡輝「修士号取得から博士号取得まで—仕事と研究をふりかえって」上智大学大学院 言語科学研究科 新入生・在校生ガイダンス 講演会[2018 年 04 月 03 日]
13. [口頭発表(招待・特別)・(単独)] 瀬尾匡輝「消化不良のままうそつきで思いながら授業してる」—理論と現場の狭間で葛藤する日本語教師の実践の再構築」上智大学大学院 言語科学研究科 新入生・在校生ガイダンス 講演会 [2018 年 04 月 03 日]

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

○ 兼業・兼職

1. [兼業] 香港大学専業進修学院・外部評価員(2017 年 02 月～)
2. [兼業] タイ ウボンラチャターニー大学教養学部 日本語学科・外部評価員(2018 年 05 月～2018 年 06 月)

○ 学協会での役職

1. 全国語学教育学会 分野別研究部会 海外留学, 広報委員長(2018 年 11 月～)
2. 言語文化教育研究学会, 研究集会実行委員長(2016 年～)
3. 言語文化教育研究学会, 事務局長補佐(2015 年～2019 年 03 月)
4. 言語文化教育研究学会, 研究集会実行委員(2014 年～)
5. 言語文化教育研究学会, 理事(2014 年～)

○ 学外教育

1. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「日本人とはだれか?—多様化する日本社会についてみんなで考えよう」, 4 時間, 30 名出席, 茨城大学グローバル教育センター
2. [茨城大学主体の社会教育(公開講座以外)]「みんなの<イバダイ学>シンポジウム」, 1 時間, , 茨城大学
3. [公開講座]「世界を知ろう! 茨城大学留学生による自国の文化紹介」, 3 時間, , 茨城大学公開講座
4. [出前授業]「外国語として日本語を教えてみよう!」, 2 時間, 60 名出席, 茨城県立那珂高等学校
5. [出前授業]「世界と日本を考える」, 3 時間, 80 名出席, 茨城県立水戸商業高等学校
6. [公開講座]「異文化理解入門—異文化コミュニケーション・ゲーム「バーンガ」の経験を通して」, 2 時間, 45 名出席, 茨城大学・阿見町国際交流協会ジョイントプログラム
7. [出前授業]「外国語として日本語を教えてみよう!」, 2 時間, 30 名出席, 茨城県立勝田高等学校
8. [公開講座]「茨城大学で学ぶ留学生達の出身国 ～自国の紹介を批判的に検討した結果から～」, 2 時間, , 茨城大学公開講座

9. [公開講座]「茨城大学で学ぶ留学生が見た日本社会 ～留学生達が行ったインタビュー調査をもとに話し合おう！～」, 2 時間, , 茨城大学公開講座

○ 地域協力活動

1. タイ ウボンラチャターニー大学教養学部 日本語学科[学外審議会・委員会等]「タイ ウボンラチャターニー大学教養学部 日本語学科 外部評価員」(2018 年 05 月～2018 年 06 月)

2. 香港大学專業進修学院[学外審議会・委員会等]「香港大学專業進修学院 外部評価員」(2017 年～)

3. [地域貢献事業]「阿見町国際交流協会」(2015 年 05 月～)

平成 30 年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1. [科研費]平成 29 年度 若手研究(B)(代表)「言語学習の「商品化」と「消費」の包括的な理解を目指した調査研究」, 403 万円 (2017 年 04 月 01 日～2020 年 03 月 31 日)

平成 30 年度における国際交流活動

1)[教育交流]「マレーシア短期英語語学研修」(連携協定あり)・マレーシア科学大学(マレーシア)

2019 年 03 月～2019 年 03 月 相手方参加者数:学生 15 名 本学参加者数:学生 12 名

2)[教育交流]「ウィスコンシン州立大学スペリオル校との授業交流」(連携協定あり)・ウィスコンシン大学州立大学スペリオル校(アメリカ合衆国)

2018 年 11 月～2018 年 11 月 相手方参加者数:教員 1 名/学生 20 名 本学参加者数:教員 1 名/学生 11 名

3)[教育交流]「ブルネイ・ダルサラーム大学の学生との授業交流」(連携協定あり)・ブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ・ダルサラーム国)

2018 年 09 月～2018 年 11 月 相手方参加者数:教員 1 名/学生 8 名 本学参加者数:教員 1 名/学生 11 名

4)[教育交流]「ブルネイ・ダルサラーム大学の学生とのオンライン交流」(連携協定あり)・ブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ・ダルサラーム国)

2018 年 08 月～2018 年 11 月 相手方参加者数:教員 1 名/学生 20 名 本学参加者数:教員 1 名/学生 20 名

5)[教育交流]「ブルネイ短期英語語学研修」(連携協定あり)・ブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ・ダルサラーム国)

2018 年 08 月～2018 年 09 月 相手方参加者数:教員 3 名/学生 20 名 本学参加者数:学生 27 名

6)[親善交流]「ブルネイ・ダルサラーム大学の学生とのランチ交流会」(連携協定あり)・ブルネイ・ダルサラーム大学(ブルネイ・ダルサラーム国)

2018 年 04 月～ 相手方参加者数:学生 3 名 本学参加者数:教職員 5 名/学生 10 名

平成 30 年度における大学運営・機構運營業務

○ 委員会・入試などの業務(機構)

・ 日本語教育プログラム部会, グローバル英語教育プログラム部会, 英語教育検討タスクフォース

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

・ 阿見・日立日本語補習授業 コーディネーター, 阿見キャンパス留学交流室チューターの支援, グローバル教育センターホームページ及び Facebook ページの管理, 阿見町国際交流協会との連携事業の促進, 阿見キャンパスの留学生

③ 平成30年度における教員の活動

家族の生活支援

○ **その他の校務**

・ 茨朋会幹事長

国際教育部門	氏名 塚田 純
--------	---------

職名	助教
学位	修士 (Media and Communication) [Mittuniversitetet] 博士(学術)[東北大学]
学歴	Mittuniversitetet 大学院 Department of Media and Communication Science 修士課程 Political Communication(スウェーデン)[(年不明)修了] 東北大学大学院 情報科学研究科 博士課程 人間社会情報科学専攻メディア情報学講座メディア文化論(日本)[(年不明)修了]
職歴	
専門分野	政治コミュニケーション、ジャーナリズム、メディア論
教育研究概要	(キーワード)Political Communication, Constructive Journalism, Mediated Citizenship, Journalism, Democratic Citizenship, Democracy, Democratizing Potential of the Internet, Media Literacy, Normative Theories of the Media
所属学会	日本比較文化学会 社会情報学会
受賞歴	なし
担当科目	(教養科目)5 学部混合地域 PBL IV, メディア文化【1Q】Media Effects A, グローバルスタディーズ【1Q】Analyzing Social Issues A, 表現・言語系科目/メディア文化【2Q】Media Effects B, グローバルスタディーズ【2Q】Analyzing Social Issues B, Studying Abroad, 人間とコミュニケーション, 表現・言語系科目+グローバルスタディーズ, メディア文化, Studying Abroad, 表現・言語系科目+人間とコミュニケーション, グローバルスタディーズ, メディア文化, 表現・言語系科目, 多文化共生

平成 30 年度における研究業績

<p>○ 学会発表等</p> <p>1. [その他・国際会議(単独)] “What “Kind” of Democracy Are We Talking About? Examining How Newspapers Frame Democratic Norms” World Social Science Forum 2018 (WSSF)[2018 年 09 月]</p> <p>2. [その他・国際会議(単独)] “Solution Journalism: Exploring the Idea of a Normative Partnership with the Citizens” EuroMedia 2018 : The European Conference on Media, Communication & Film 2018 (Brighton & Hove, United Kingdom)[2018 年 07 月]</p>
--

平成 30 年度における社会的活動、地域貢献など:

<p>○ 学外教育</p> <p>1. [その他]「Simon Fraser 大学とのオンライン国際交流」</p>

平成 30 年度における科学研究費補助金などの受領

○ 競争的資金の獲得

1) [科研費以外] (代表) 「平成 29 年度「米国非営利メディア組織がジャーナリズムを通して構築する視聴者との関係性」, 0 万円, (公益財団法人放送文化基金助成金) (2018 年 04 月～2019 年 03 月)

平成 30 年度における国際交流活動

1) 「Simon Fraser 大学とのオンライン国際交流」

平成 30 年度における大学運営・機構運營業務

○ 全学的委員会の業務

「AIMS 部会」(年度不詳)

「グローバル イングリッシュ プログラム (GEP) 部会」(年度不詳)

○ 機構教員としての全学的活動(教学マネジメント)等

1. [AIMS Program 部会員] (年度不詳)

2. [Global English Program (GEP) 部会員] (年度不詳)

○ その他の校務

1. [全学教育機構 学術委員] (年度不詳)